

名称(案)について

平成17年12月7日

1. 名称(案)

① 美知ジャパネスク

- ・江戸時代の国学者、本居宣長の説く「道」では、美知(みち)は、もともと道路の意味、という(武部健一「道のはなし」より)。
- ・ジャパネスクは、日本風、ニッポン文化回帰。美しい日本の道を見直そう、回帰しよう、という行為を持たせた意。

派生: 美知ジャパン、未知ジャパネスク/ジャパン

② みちルネッサンス

- ・みちが様々な機能を備えていた時代をとりもどす。また、風景を楽しみ、地域の良さを楽しむ旅への復興の意。

派生: 未知/美知ルネッサンス

③ 旅ルネッサンス

移動のプロセスを楽しむ旅の復興、の意味での名称も可

④ ジャパンブレスウェイ～地域と呼吸する道～

- ・地域と道路利用者が自然にコミュニケーションし、様々な価値の創造やその交換を行う様子を示したもの。
- ・Breath(息、呼吸)の他に、Bless(祝福する、恵みを授ける)。
- ・ただし、英語表記としてはJapan Breathing Way(ジャパンブリージングウェイ)、Japan Blessed Way(ジャパンブレストウェイ)の方がよい

⑤ シーニックバイウェイジャパン

- ・景観のよい(Scenic)わき道(Byway)アメリカでの取り組み名称

⑥ 日本の道

- ・すべての道を生かしていく事業名として

⑦ この道ニッポン

- ・日本の特徴を示した事業名として